しがけ失かっ

報

整

にり光以

相のが稲

を業・培

水

(こう)

た談事い栽

まあ

、つ、、一けし被

必でるにては所か別有がクびの要、と色い隣有らのと、積3世

と色い隣有らのと、積

上片

りすがよな2方基たのし口礎クがのあうつ段の礎。所たツ及塀

マま接で4事な上み段有作なし者し段例ではません。

補償コンサルタント情報コミュニケーション

こちらも ご覧下さい 〒454-0011 名古屋市中川区山王一丁目8番28号

> $T \in L : 052-331-5356$ FAX: 052-331-4010

岐阜、三重、豊田、東三河、西三河、稲沢、一宮、春日井、関東、東北、福島 店/ 営業所 / 静岡、関西、伊勢

https://www.shinnichi.co.jp E-mail:shinnichi@shinnichi.co.jp URL

IS09001:2015

IS027001:2013

価

部

門

。る償

うに管れ部業

士そ

のれ

資ぞ

格れ

がの

部ちな理の門務

サれ

全業門

、30 国 務 別

。並そ

価

共サゼはの%査地

地での務我2

のな土た地施務

し国近まと門コ施なン地

、年せは業ンしくサ評 県、ん当務サて官ル価

にあ取の々%土し、

、に心補も評残業

つへ償更う

れル評し地

るを価てのこ始業、取

こ始業、取 とめ務今得

を民が後に

る 業用ルルの % 重地 は、 から部 地 変 我 9 % 査 全 業 門

評のと

響は影状よ境とすイにを「響況っ」は。シ「 1 ン 「環光 又ての「そ」公境客 す害をは阻形良れが害省に 光いそ害成好に示対ホつ にいれさがなよさ策しい `にれ漏 「るれガムて

れる狭よてれ照とてイペ て悪義るい光明光いドー い影に悪るに環害まラジ 、術稲要いえ

すり情関が害前、 忘 理 7 記と受損ひの

必お例り一い生明日響農 、定まじに植例作当水す す照っ例研のとてて乱のするよ物と物ガ稲 影射たえ究光いは言暴暗 ° ′ っでしへイの 光もされた。 一下光 である。 でもの。 をし。 でもの。 をもの。 でもの。 をもの。 でもの。 をもの。 をし。 をもの。 をし。 をもの。 をもの。 をもの。 をもの。 をもの。 をもの。 をもの。 をもの。 をもの。 をも。 。 ば 響 が 合発 明出し光れいで睡長人要穂さ遅夜ネ光ンつ 学穂E制ててす眠期間でにれ延間はのでい 。がににあはてが照短影はて 会にD御おは も値が穫量にも収た家じ

るな業となうまう判事得

をがもば害一の

の断側うれ被

れり のまて 、い以 面すいそう上 でがるのもの 、と損のよ こ害はう 果ろも一に も関 で確般 そ係は認に光 も認あさあ害

ょ ると調 歩は査行、を 者街通 や灯じ 自やて 動照感 車明じ

のにた

物すりか 1F 、分えら 等がも分かの。 で、スかの。 場で、スかの。

い方工えき経

合りは古ムる設

がに隣い|場置

あ食接時ズ合さ

りい者代にはれ

ま 違 双 の 行 聞 た

、なでのおが係ば地んと果化か。のな 起しきより行の、取。は関だら被要ど あ切起しきより行の、取 どうにう新てはか担 幸な状勉観しい普も当ま いた況強点くる段し者とでかでをか、も、れにめ `れにめいは他 すのししら事の補まはた

たて、業で價せ市内でした。 。みこ損す業ん識容とい益 でもと なれと機とらを、こ設すのの れがい会い目し私と計。がバ Oなれと機とらを

ましは

や査に電に査物の価査ま元地整 が 1 てが 門 分 内 対波当 。件上を、つへを備道あ部い担毎か容補 地更す障たま等には買ての取の路り門ま当のれに償 害ったの建じ収、事得た建まにすす補 て事調物めす土業すめ設す土 ッ、 ・ ・ も ・ も に 、 そ 十 の 明 に 、 イ 地日業査等 業盤照をやがそ土の明に 業の損変障進営有の地測かは公ン 務説失動害め業れ土の量ら、 共フ る調ば地評調始地用ラ す本もは得う「コし部20失件で注コ つ、す:公ンま門%15調土額ン

務地即 の 総 土 、 て正る と て地取 償な )で、 に す取 る引 土 ての価対り得中、に地、事%べ量の 地ある つの いが格し ては ま基をて取伴は償達価り損物ス受償

体注用大用 号 誌 あ更業に職かもつ評 97 った来減員しした価補が な巻 で(2013) その間多県

二種は あがあ物が刈い穫部とる週類 `稲 損 る落るの減りかす分しと間や一の害 よちと品と取なるだての程明説成の うる判質なついとけはこ度るに長発 でと断にるたたいを光とのさは遅生 すいさばほ結めう遅害で遅に うれらか果、わらをす延よ照とつ 98 。がっ明しい と買き収収様にてっ農生てのて

事変要

て

紹 ŧ

介あ

合

での必合

にの

の自へく共官 。然がルい側がの 用治発のに側 な少のた用実業 単係けと害因の定の稲 と判者いけにす」定業と一純あでいのが光では作 もは損補方にり被つ申当害は毎など は、害てし然のな年とは、害ないとあれて、これがある。 下調の賠者般と起の「書いとあ収出あ影す査で償がのさ業因に籍えすり量がり響 し必しな責立訴れ者果よ「まる、のあま以街穫相た要、く任証訟て者関れ用せこ因変るす外灯量手 。 のながの

願 間 補 と確者付まいほ まるた 人な査 をど対調思認に近してこ前 す土 で象査い方つのた確ら回 土地にま法い工 。認等( 地の行すをて作今のの第 の登く。記、物回方所122 L で所等 はをでま登記前 一等は法有号般の、を者) 述 土確調で名りませる。 し般の た的所境述にに 名謄は

あ分 あらのの額行産は業 地幅地しかか地め職すは即り実評画をい鑑標務従気満門拘係業に職かもつ評、員る補ちま施価地基、定準は来がた業わわれる。 は注土る 不が地問

しした価補がこ償、ししをににこ士地国、れこ部償実とコ土たて用つ買のがに関 き地い収標鑑関係のすの発 た職てす準定しの土 実員はる地評て官地 態が各個評価不庁評 思2評題 が自筆々価を動で価 議%価に

いし価組有る償業 کے ま実地 い注ン土務共すき門も不あンつり今うまさサ地と用。か業な明フッ す態職 が員 。な業あ明ろサい市後し 課す 期務わ土うルて町はた 題ら 、村 国 実 待のせ地機が と存 を受た問会受我の な 在 持注土題に注々公県から っし てな

て対評取所き補事もし レンレン

的調得土

地認査 所しすま義本調 いな有界べ な合合ん行色の りきの重ど、、。わ々所聞ま取土な しるます双無場要で りきの重がよ等合者近 で 査 て 地 有 3 共工まのたる方い合でも片 段有作すで、必か場です隣方 、るのががで調すを建立者 双片なの有き り地る境確所あはは査 す 万方け場者取 合 。接の を所場界認有りつ工対 5 う 入確 例則が聞 も持双者所 のれ合とり 行有合にがはまき作象 工り認  $\mathcal{O}$ る者なエー聞すり物地 必等ど作般き。し等の 所ばを考は と作のを のあきあ分方の有 変 共有な想えて し場り取るがの確者 則 が物了行 有者り定ら作 合まりの等共認の な 要には物的取工なの境 等解い で分有は場 場ののましれ物 す照 がも隣等でり作い所界 般のを

あ聞接がすに物場有付

100年企業をめざして!

聞

き

取まンのと

必ま可使でト溝り 出んし注がを書出まが い限有今も確補に も含は まが継場にいなす 、境来 。な者納しに来せ決所 りの者後基な償携長要すが用すでま配等も本把物わ年での必す。施 入あむ、境来れり 隣界な す生承合親場る。ドの、威会は で水水 じの (起 得て所たんめ有 戚合ほ親 しい有時。るの 和告書 ればか ればか る過工同がどの 正的握件つ (確 のて補 可程作士あは代 なき者点双も確 尽認な いまと 能で物がりつ 所い償 で方の認 認) のな と場すし 性食等隣まき先 کے 有ま調 調のでは 物 作り協合 って査納は調 確も占の合ク路地る共工 認あ有上なリやへ場部作 工 す査 は件 では者 がいの接すり々 最のす、のが業大所。最正、務 成ま議は双記報得あ査 あ違所者。し代 て もり許をどし 側乗合分物 がせを発方載告がり員 りい有の特なに

合場場せてる等

「にし事タた パの Pray ステッ を一のこ いコ 検 ネはの らそ索 ツ ツ for トリーで気を しのカ た以て で気を -紙に設 -の画像 小来い下な初め た1くめ さ車時のイで 」な体で記ン見

赴市約県赴単年のの25

そに年手家

継続在後動次条と

なえ

で

ったも

で

は赴家しのよ

寂もに

下時はま暮ス共し着在

い春子上石んし無生い、はた期はの市。のい活ま皆住

大学情も落ちたるというの、一人などのでした。となるストレーをあるストレーをは拭えたがある。

釜せらは同てきで

るげな

て思の

順る

い身島り島に

がい

2相き身ぶ年仕年年そ

でりの事

月

市 2 岩に10が

とに石離らみ

て単福な福市れ20、事平か

## Pray for Japan

るいるな本す捧界受味日な自いに。げ中けは

にかな何はいが向

でを世を意

、いそてのた。 可るれく人日祈

て追しいも同る祈け震るのう

いわくででじのりて災とで単

市いエ共家くで復釜す

方しハ生借町内事市

、を言数に

う人

ッを

ト知

みたい

で

トりた

になの④間番

い満か除③②

たに⑤順け

よ些道番る

?

、同すが等分浴れ

つ当

う細路

まれ思

を

々が分

5

とな時まいか結たるん時石てシで軒な頃は

でにをんとのもの」。も出のまア同を隣市興石

一稼

てにっ

ことで、鍋を囲

は、ワんで客活

イだも

りしワりすが良

まさイしぐあか

き夜皆たた逆思

鍋には共ま

つ来生

等

で

た遅で際事に

で

あ寂

て

き

が関原

て

過 仕ご事

Ĺ

にがん

震 経

災過

込復し震

数そ業成ら

、い今がり代せこら婚もよで、 そよ、でにをんとのもの。も出

き楽思でば共しで

興た災

すそ学あ楽ねかわし人

す一宅 し感

これ生りしてにれてさ今釜し

工てずに 查事事 進事経事 と前調め前験業  $\mathcal{O}$ い概そ説査 る調し損 れ明対た査で失 た要 だにに会象めを感の つ伴を者にスじ事 いう行にはムた前 <u>ت</u> ا て事い対 が理前

い施いに査まな容い

んわ査と純いたが体

とどけ自いにう。多に建調でで体う人こコい拒物査

査すはをもをと口印否内挨

内のな拒の入もナ象反に拶

、に、方しすたまで受をる 入つしがてがくっあけ示こ

てかとる調い単とし方自

報果受果ま

及

室いっほい、なてるま

もい告を領の

し印書ま

マスク着用

がし建象をと

なた物を欲め

いと等受した

きにけが調

でい否でれ相禍を応入時

工てはにしっにな実れなりす多

を(1)すい者感の てかじ事今 記らた前回 受 こ調は l と査私がた たけ いた と反調経事 思応査験業 いに対し損 `しまズと査 まつ象て失

同い内うた象方工どうのの査か査い状を事ま

行る容挨めをが事れる程目のら対ま態知自し

等間こ、工前こ、し水こ はりど事調れ調やのと

、揺何よをの

すと

多に建調すかの訪査

事業損失の 事前調査を 経験して

い寝わそに調

エし

行

、時時査に

いくの3③拶基

は対

① 着

、挨は

①まつ時回調時本

介応し果調

しにまの査

たつす説実 にいず明施調室

思いその

とて

たてつの施がのもるくまら耳れの挨査ん説務今 。いいか期起か、事はたつにる際拶にで明でしていて等間に、工前こ、し水こ、を先し会は、 0 で明で回 て  $\mathcal{O}$ 立たが都私ち。開合が いん まが

、受気のくの度的内実象しのら体た対のさ て事つ時調けに内らかのは容施者た方ずがが象たれりっい施いに査まな容い、揺何よをの。も、行、者めま事た 者めま事た た(2)れ 査にび伴た 的調反調る対説にうだ 紹反問結②に査応査 対感者す施 象

と象明実事き じのる期調 者ま理方間査 かし解がをの らたを よ一内そ 。得り体容れ 受

ら調的並に

た方よた。

とい触いら屋を査方等実**実**し指入た思うらまれ、示にが、施**施**や定室だ

撮でを査思うらまれ、示にが、施**施**や定 影、残がい意なしる調さ対多他時**時**いさ (領の) し影、残がい意なしる調さ対多他時時説たさ調し入ま味いた方査れしい事は明。れ査たつす合か。も員、てのをテ るのいた。い確勝いに1とでやレ

方実とと中も認手らつ部てすっビ 考元材あたがすし調に等 えに料っら調がな査はのう工 ま 置 と た 調 査 すいなと査を個も象査由判前。てりき報受人の者結で断か す申書るにとは報

、い対調理か事

っ力だしがけと てがけー、た 調以

に告け的だに果すがら しは側は思お告基かっ 出何だ自い渡書本なた 忘いある日あ反調査上 れる つ調もく応査

けあ成者を日まかじ失

なるりのいなしらたの

いこ立協たいた受こ

と手のかっ分ましは的いか 業て査のまを

こ対時で記象 たは務 いでそ象間半し者

距離をとる

検温 手指の消毒

ま電が完復や過 ら勝あ大決談丈の 、了旧河し震れ手る変めす夫で 冨が・川福災てにごだたるだ私 の福が・川福災てに ・島かい決とつの 見復 からことと思いてと思いい。 え興海県 すないな 事岸で 事北うが く家く で色勝族 を行 T が 愚き 々手にも 痴を事とに相大

子ま 力 概等道 発たねの路経 Japan」、「 を忘れずにも を忘れずにも い戻災震に日に けの 今ませ前に発本加な すなのよ生台えっ 。い落りし風、て 後 伝復に 状ち たや令い 「Pray 」の気 況着ま福昨和ま ŧ う だ島 がき 続をま県 すけ興ば持 い取だ沖2のそ

ば手のず 思い旧 いを ま続復し て事らち

れこ設に

つ損て得をれ権

あコ順償地まさるのす

ンがの収せせ場権る 訳サ必手用んな合利土

てり震地月東れ 情と適い者取い 。になによよばれ定所まがな用場と得て公し 価基の関土 り則るっ取らさ有たあるに合のさは共と格準消る地 得をれ権、りなよは協れ、用あをに滅所ので消て以取まどる土議る税地りもはに有取 が々手補土き滅い外得すの取地がこ金のまっ「係権得 。特得収成とを取すて正る以及 別が用立、使得。補常補外び な可法し所っに 償な償の土 事能のな有

あ補 り償 まに すは

つ場共償い料

方

通の

な常ら識

すかンあはの

り的が大自辺たにこ まにコで分りが関こ

かサり勉業実てで

でまに返の介例 状コ :: につりでをやさ況ロ今 とナ年 : いっすす研 T 補がる究 なのも 紙て 、ベ成本つ蔓変 の思っ基き果来て延わ 許すでは、ならず新いつでに振って何になってででであった。 でででででいます。 でででならばす。 囲ま りな紹事 も次の、 日か認、こま与等 であると こま得と、 と

補償って

な用 賃 で料 使中や中 5 補や設部まり料か借あと用用の臨の 償地やだたまをら権りし価す資時一 も下トけ、す算正を、て値る材道時 すな定上償損めき

表 発にンで土 生対ネな地 しすルく使 まるな送用

。出常設地補のた置路的 る土し権す失、場工出 なまるを土な事出 とのこたも使地ど期入 に使れはの用のに間路

常補 わルま強務の書土 るのす不にとい地作最 。足つこての 生償 す損ど電は ず及 失上線地 作 最 り一業る移縮止休 関●るず と行土 こ補は希い るなあコ方お 、と償避望てま ま般休損転小の止営なっ地用わ営点 こけりン法い物せ 、サのて件ん とば足ル策は補

行はるにが行等のに は 、うの内供土損移建 多こ「容さ地失転物 てら先にに失転れ移め要多 ー さ 個 り あ 用 移 れ に は 規 補 料 ま 転 建 な く と 取 に れ が の に 移 「定償補す料物ののが得よる公補伴転 。」等は場あ」 のに土合りのて合事 補対地 `ま補は 償しで事す償建事の 7 がてあ業

よ認移同 1 性上左者つしるつめ転項項損移わった必 、右のまと費 。すの工妥妥ま28つ るに法当当す条いて も要にとな

が地

般れ別補りを転る 的ずの償ま補す移通通さ基償 けな 方で 、事はす償る転常常れ準に ば用法最社情 なににも会な被 りよよ妥通ど補 務さも験とあ にせ多値言り等 取てくのえま々 補ど業 上どす 償にの りも 組らそがもが多 対 近 んいのらな < す隣 でな都なかコの T

おが度いなン補

りら勉もかサ償

ま業強の経ルが

等にきに

事我た失

ル要続法

土

用

に

関

わ

的

は

工

事

期

間

わ客

れ観

K

損響●補の費●補のの価ど● 地少の理地の 通な毛 常ど 等等低由が他 にが下に狭の 関生、よ小補 生に養 ず対殖 関生 よ小補 るす物 すず利りに償 `なと る る用

を物業用 損場価そるし

失合値のなて

失 な 事 償 他 用 立 償 残 減 格 の 残 そ る、地 損るや失、造 事の のそ成 業影

業い痛か理ま触の地り務み協が妥算 す休が営 業営は まのら解せれ移交ま 合営際 がが議起当定 漁す種変をんる転渉す停その業な業 ことわ得がこ後に。滞ろ肝者移務 にならる、とのおすわでと転に の業 るたり、模廃 補等そ と最 なも営よ 償をの